

令和7年度 県政出前講座メニュー

【4 環境】

分類	番号	テーマ名	講座の概要	担当	連絡先
環境	4-1	森林湖沼環境税の仕組みと税の使途	平成20年4月から導入された森林湖沼環境税の仕組みと税の使途について説明します。	税務課 環境対策課 林政課	029-301-2418 029-301-2968 029-301-4021
	4-2	霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川の水質保全の取組（森林湖沼環境税を活用した施策の紹介）	霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼・河川の状況と様々な主体による水質浄化への取組について説明します。	環境対策課	029-301-2968
	4-3	林業の成長産業化と森林の公益的機能の発揮（森林湖沼環境税を活用した施策の紹介）	森林施業の集約化による林業経営の自立の促進と木材利用の拡大により、森林資源の循環利用を推進し、林業の成長産業化と森林の公益的機能の発揮を図るための施策について説明します。	林政課 林業課	029-301-4021 029-301-4051
	4-4	地球温暖化対策	地球温暖化の原因と影響、様々な対策の必要性及び県民や事業者求められる省エネ実践行動等の取組について説明します。	環境政策課	029-301-2939
	4-5	太陽光発電施設の適正導入	太陽光発電施設の設置に関して、計画段階から設置後の維持管理、撤去・処分まで、県太陽光発電施設適正導入ガイドラインの内容等について説明します。	環境政策課	029-301-2939
	4-6	事業所における省エネ対策	これから省エネに取組む事業所向けに、県に報告のあった様々な取組の中から、エネルギー管理士が厳選した項目や省エネのコツを紹介します。	環境政策課	029-301-2939
	4-7	野生鳥獣の保護・管理について	人と野生鳥獣の共存を図るために県が行っている取組や、一人ひとりができることについて説明します。	環境政策課	029-301-2946
	4-8	生物多様性とは何か	生物多様性とは何か、またその保全の重要性や県民・事業者等に求められていることなどを説明します。	環境政策課 （生物多様性センター）	029-301-2940
	4-9	特定外来生物（外来カミキリムシ、アライグマ、キョンなど）について	生物多様性の観点から、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすおそれのある特定外来生物の特徴などについて説明します。	環境政策課 （生物多様性センター）	029-301-2940
	4-10	オゾン層保護と地球温暖化防止のためのフロン対策	冷蔵庫やエアコンの冷媒等として使用されているフロン類のオゾン層保護や地球温暖化防止のための対策について説明します。	環境対策課	029-301-2956
	4-11	化学物質の状況と対策	ダイオキシン類をはじめとした化学物質問題の実態、県における調査や対策等の取組状況について説明します。	環境対策課	029-301-2956
	4-12	河川等の水質状況と生活排水対策	河川等の水質状況、本県の生活排水対策及び家庭でできる生活排水対策について説明します。	環境対策課	029-301-2966

4-13	浄化槽設置に係る補助制度	森林湖沼環境税（平成20年度導入）を財源とする制度改正の内容など、浄化槽を設置する方への補助について説明します。	環境対策課	029-301-2966
4-14	茨城の大気環境の状況について	微小粒子状物質（PM2.5）をはじめとした大気環境の状況、県における調査や対策等の取組状況について説明します。	環境対策課	029-301-2961
4-15	産業廃棄物の不法投棄対策について	産業廃棄物の不法投棄の現状や、その対策について説明します。	廃棄物規制課	029-301-3033
4-16	循環型社会の形成	循環型社会の形成に向けた法制度の概要、廃棄物の減量化、リサイクル、食品ロスなどに係る取組の現状、県民や事業者に求められている取組などについて説明します。	資源循環推進課	029-301-3020
4-17	水素エネルギーについて	次世代エネルギーとして期待される水素の取組状況を説明します。	科学技術振興課	029-301-2499
4-18	環境学習（水質調査・プランクトンの観察・魚の観察）	霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼・河川の水質の調査・霞ヶ浦に棲息するプランクトンの観察・湖沼や河川での魚の観察を通して水環境の保全を考えます。	霞ヶ浦環境科学センター	029-828-0962
4-19	霞ヶ浦学講座（霞ヶ浦を地元学としてとらえました）	霞ヶ浦について、水利用や周辺での産業、さらには歴史までの広い分野から、霞ヶ浦の将来や環境保全を考えます。	霞ヶ浦環境科学センター	029-828-0962